

【書面開催】板橋区高齢者保健福祉・介護保険事業計画2023(原案)に対する意見・感想(抜粋)

章	意見	区の考え方
第1章	P.3 脚注の8050問題は記載が足りない。引きこもり問題のみを指す言葉ではないので、もっと広義な記載に修正すべき。	ご指摘を受け、説明を追記しました。
第1章	P.3 背景 「現役世代」→「現役世代(20～60歳)」 高齢者や後期高齢者の年齢は広く知られていますが、現役世代とは何歳をいうのかを知ってもらう必要があると思う。この為、前者2つ(高齢者、後期高齢者)についてもそれぞれ括弧書きで年齢を明記すべきでは。	ご指摘を受けて、現役世代について脚注に年齢表記を追記しました。
第2章	P.26(4) 現状や課題の1つ目の記載、最も多い「趣味のグループ」でも3割という否定的な捉え方ではなく、肯定的な表現に改めては。社会参加にも多様な形態があってよい。	ご指摘を受け、肯定的な表現に修正しました。
第2章	P.17(28、108) 従事者数・従事者の動向、把握等はされていますか?介護人材の不足が大きな懸念材料となっており、支援内容がまだまだ弱いのではないのでしょうか。	人材不足により新規利用者の受入を控えたり、開設した事業所の業務開始が遅れるなど、様々な影響が出ていることは把握しています。全国的に人材不足が叫ばれる中で、一自治体が劇的に効果のある取組や対策を行うことは難しいですが、資格取得の補助や元気な高齢者や未来を担う子供たちなど幅広い層への働きかけに努め、人材の裾野を広げる取組を進めるとともに、新たな支援施策についても検討していきます。
第3章	基本理念として、前計画の「個人の尊厳と幸福追求権の尊重を前提とした『高齢者の自立支援』」が書き込まれました。あらためて介護保険事業計画だけではなく福祉施策全体さらには行政の立場として重要と思います。行政職の方には自明で今更なのかもしれませんが今、「自助」が各所で強調されているなかで、地域住民に向けてあらためてこういった「個人の尊厳」や「幸福追求権」が前提であることを強調・記載しておくことが大切だと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。住民の方々が自身の老後や生活について考え、自らの意思が尊重される中で人生の最期まで自立した生活を営めるよう、地域と協働した地域づくりに努めていきます。
第4章	P.45 ④住まいと住まい方 について 『ひとり暮らし高齢者への支援や、身元不明高齢者への対応が・・・』とありますが、以前、追記していただきたいものとして『身寄りのいない高齢者への対応』とお伝えしました。『身元不明高齢者への対応』というのは、区が保護した身元不明高齢者の住まいへの支援・・・ということでしょうか。	こちらに記載されている「身元不明高齢者への対応」というのは、道で迷っている(徘徊)認知症等の高齢者で、身元不明者(居所不明者)が地域で発見された場合を想定しております。身寄りのいない高齢者の方の住まいにつきましては「民間賃貸住宅における居住支援」など、住宅政策部門とも連携して支援を進めていきます。
第4章	P.81 シニア活動のことなど、地域での取組が記載されており、良くまとまっていると思う。	元気高齢者の社会活動支援は、板橋区版A I Pにおける地域の担い手づくりの観点からもとても重要であると認識しています。今後も引き続き、様々な社会参加の形、社会活動のきっかけとなる事業などの情報を発信し、支援を続けてまいります。
第4章	P.88 おとしより相談センターは益々問題が増えているので、拡充・機能強化は必要です。また、災害時の一人暮らし高齢者への取組など、支え合い事業が必要だと思えます。	高齢者を取り巻く多くの問題が顕在化している中で、地域包括支援センター(おとしより相談センター)の業務が多様化しています。引き続き、センターの業務内容を評価分析し、業務改善や人員配置基準を随時検討する等、センターの運営を支援していきます。また、板橋区版A I Pの実現には、公的な支援だけでなく、互いに助け合い連携していくことが大切です。今後とも区民の皆さんや関係団体等と協力して取り組んでいきます。
第4章	P.90 自助・互助・公助だけでなく、「公助」についても記載すべき。冒頭の説明「公助はもとより」だけでは足りない。「公助」も役割を積極的に推進していくことを書くといい。	ご指摘を受け、公助の役割について追記しました。

【書面開催】板橋区高齢者保健福祉・介護保険事業計画2023(原案)に対する意見・感想(抜粋)

章	意見	区の考え方
第4章	P.90 板橋区版AIPを支える地域住民と関係団体・関係機関について AIPを支える関係者の声を取り上げたのは、それぞれの方々の取組内容について知ることができてとても有意義である。また、読んだ方にとってもAIPの理解促進につながり、良いと感じられた。	今後も引き続き、内容のわかりやすさに配慮し、板橋区版AIPの取組について理解していただけるよう、様々な機会を捉え普及・啓発に努めていきます。
第4章	P111 ▼介護現場の負担軽減 4-1介護分野の文書に係る負担軽減に向けた具体的取組は是非進めていただきたい。介護事業者として板橋区以外にも行政機関への届け出等を行っているが、他の機関に比べ板橋区から提出を求められる文書が多いと感じます。また、医療・介護連携にも関連しますが、事業者間の情報共有などにICTを活用した取り組みを進められるよう、板橋区としても個人情報保護など今まで課題となっていた懸案事項を出来るだけ早急に解決し、区としての方向性を示してください。ICT化は事業所にとって高額な設備投資が必要です。その支出が無駄や不効率なものとならないようご配慮をお願いします。(P60にも関連します)	人材不足が続く中で、介護事業所の負担の軽減を図っていくことは大変重要だと認識しています。近隣区の状況も参考にし、引き続き、提出書類の簡素化や効率化を進めていきます。 また、ICTを活用した情報共有については、東京都が導入を進めている「多職種ポータルサイト」を活用し、介護事業者や医療機関など、関係機関と協力しながら効果的な運用方法の検討していきます。
第4章	P.113 感染症拡大防止に取り組むことはもちろん大事だが、感染してしまった要介護者、家族をどのようにケアしていくかも必要だと思います。第6章P.188に物流支援が記載されているが、感染対策を取りながら感染者のケアを行っていく訓練等の実施も必要だと思います。	コロナ禍における様々な課題については、今後も国や都、介護事業者、医療機関等と連携し、状況に応じた支援を検討していきます。 また、介護保険事業所については今後3年以内に感染症や非常災害の発生時における業務継続計画の策定、計画内容の従業員への周知、定期的な研修及び訓練の実施、計画の見直しを行うことが義務付けられました。区では各事業所の計画策定を積極的に支援していくとともに、研修や訓練の実施についても事業所と連携して進めていきます。
第5章	コロナ禍の中、介護保険料・利用料の負担のために介護保険サービスの利用を控える(できない)方が増加する可能性があります。利用料の減免制度の充実など、必要なサービスが提供できるような工夫をお願いします。また各種事業者についても感染対策はじめ、様々な(財政的な問題含めて)困難が発生してくると予想されます。事業継続に関する支援の検討をお願いします。	コロナ禍が高齢者や介護事業所に及ぼす影響を注視し、国や都の支援施策も活用しながら、状況に応じた支援を検討していきます。
第5章	「通所介護」や「通所リハビリテーション」「短期入所生活介護」「介護予防通所リハビリテーション」など通所系や短期入所系サービス(123~125頁)の実績に係る数値減等は、すべて「新型コロナウイルス」の影響でしょうか。それ以外の実績に係る数値減等(129~140頁)の理由も同様でしょうか。また、次期計画において、「新型コロナウイルス」の影響により、計画値を余りにも下回る場合は、何らかの代替措置等を採用のでしょうか。	主に通所系・短期入所系のサービスは新型コロナウイルス感染症による利用控えにより実績が下がっているものと思われます。計画値を下回る場合について、計画値を修正することは現在のところ想定しておりません。 また、介護事業者への支援として、令和3年度の報酬改定において、通所介護等を対象に、感染症や災害への対応力強化を目的に、感染症の影響により利用が減少した介護事業者に対する報酬加算制度が新設されました。
第6章	【各日常圏域の状況】 各圏域について詳しく分析がなされており、自分の地域の実情に対して関心を持つことができ、良い内容だと感じた。	区内でも地域によって人口構成や生活環境の違いがあり、高齢化率や認定率にも地域差が見られます。今後は各圏域の課題に合わせた取組につなげていけるよう、地域の状況把握・分析を進めていくとともに、地域住民や地域包括支援センター、関係機関との課題の共有に努めていきます。

【書面開催】板橋区高齢者保健福祉・介護保険事業計画2023(原案)に対する意見・感想(抜粋)

章	意見	区の考え方
計画全体	<p>今回の事業計画の策定にあたっては、各種の調査や分析がより精緻におこなわれたように思います。また「介護給付・予防給付」の範囲にとどまらず、介護予防事業・包括的支援事業についてもこれまでの取り組みを踏まえて、多くの記述がなされています。8期の計画期間においてこれらの活動の充実、AIPやフレイル予防など地域での「通いの場」を住民主体でどう活発化させていくか（現状はコロナのなか難しいですが）が重要と思います。地域包括支援センターや住民に任せるだけでなく、また行政が丸抱えでもなく、どう推進していくのか、しっかりした情報提供・啓発と具体的な仕組みづくりを行っていくことが求められると思います。</p>	<p>ありがとうございます。 板橋区版AIPの実現には区民の方を主体とする取組の充実が大変重要だと認識しています。地域での活動が充実し、持続的なものとなるよう、区民と区、関係団体間の情報共有やさらなる連携に向けた仕組みづくりに努めていきます。</p>
計画全体	<p>これから高齢者が増加し、大切な税金や保険料が使われるため、高齢の方も若い方も後遺症にならないように病気の予防と、筋力や体力の低下予防をしていただけるような記載を入れてほしいです。</p>	<p>コロナ禍においては高齢者の外出控え等による体力の低下や認知症状の進行、孤立化など様々な課題が懸念されています。コロナウイルス感染症が心身機能に及ぼす影響について把握に努め、新しい生活様式下での健康維持や介護予防、地域づくりのあり方についても検討・発信していきます。 またご指摘のとおり、自粛要請等による生活の変化は全世代の健康面にも影響を与えていると考えられることから、状況に応じて保健分野との連携も検討していきます。</p>